

⑨定員の状況(一般職)

ア. 部門別職員の状況(各年4月1日現在)

(人)

区 分		職 員 数		対前年度増減数	
部 門		平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度
一般行政部門	議 会	3	3	△2	—
	総務企画	83	85	—	2
	税 務	21	18	△2	△3
	民 生	59	64	△4	5
	衛 生	33	30	△2	△3
	農 林	35	32	△3	△3
	商 工	8	9	△1	1
	土 木	21	21	△1	—
	小 計	263	262	△15	△1
特別行政部門	教 育	56	54	△2	△2
	消 防	57	57	△1	—
	小 計	113	111	△3	△2
普通会計計		376	373	△18	△3
公営企業等	病 院	202	200	△2	△2
	水 道	10	10	—	—
	下 水 道	8	8	—	—
	そ の 他	71	71	—	—
	小 計	291	289	△2	△2
合 計		667	662	△23	△5

※職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時または非常勤職員を除いています。

※平成22年度のその他の内訳は、国民健康保険事業7人、介護保険事業11人、老人保健施設、訪問看護事業33人、観光事業20人です。

イ. 職員数の対前年度増減理由

区 分	増員数	減員数	差引	主な増減理由	
一般行政部門	議 会				
	総務企画	5	3	2	組織再編及び、国体業務職員の充実により増員2人
	税 務		3	△3	組織再編により減員3人
	民 生	6	1	5	組織再編により増員5人
	衛 生	4	7	△3	組織再編により減員3人
	農 林		3	△3	組織再編により減員3人
	商 工	1		1	組織再編により増員1人
	土 木				
特別行政部門	教 育		2	△2	退職者不補充及び組織再編により減員2人
	消 防				
公営企業等	病 院		2	△2	退職者不補充により減員2人
	水 道				
	下 水 道				
	そ の 他	4	4		組織再編により、介護保険事業増員4人、観光事業減員4人

美祿あざぎない活性化応援事業について

対象産業

市内の商業集積地区（重点区域）における空き店舗を活用し、新たに出店される方に対し、補助金を交付します。

適用日 4月1日（金）

対象者

（いずれも該当される人）

- 重点区域において空き店舗所有者から空き店舗を直接賃借し、補助対象産業を開業しようとする人
- 主に昼間の営業が出来る人
- 開業後1年以上営業することが見込まれる人
- 空き店舗所有者と同一世帯でない人
- 市民税を滞納していない人
- 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2項に規定する暴力団に関係しない人

（改修費補助）

対象経費・補助額・補助要件

- 対象経費 工事請負費（備品類を除く。）
- 補助額 対象経費の1/2に相当する額（上限80万円）
- 補助要件 工事施工者は、市内に事業所を有するものに限る。

（家賃補助）

対象経費

- 月額家賃（敷金、礼金、共益費等店舗賃借料に付随して必要となる経費を除く。）
- 補助額 対象経費の1/2に相当する額（上限2万円）
- 補助要件 補助期間は、1店舗12月を限度とし、開業月から対象とする。

対象区域（重点区域）

- 美祿区域（市役所本庁舎を中心とする概ね半径500m以内）
- 美東区域（美東総合支所庁舎を中心とする概ね半径500m以内）
- 秋芳区域（秋芳総合支所庁舎を中心とする概ね半径500m以内）

申請方法

あらかじめ申請書、営業計画書等を商工労働課へ提出する必要がある。す。（申請書、営業計画書等の用紙は、商工労働課にてお渡しします。）

注意事項

- この補助金は、予算の範囲までとなります。
- 補助を受けられた方は、地元で実施する事業に対し、積極的に協力するよう努めて下さい。

申請・問合せ先

商工労働課
 Room 7 (5) 5224
 Eメール shoukou@city.minegijp

俳句と短歌

【美祿つぼみ句会】

浅春や 書かねば言葉 消えやすし
 春めくや 少女の眉の うすみどり
 池田 萼陽

【美祿あざぎ句会】

山焼く炎 消えて岩群 前面に
 盆栽の 小さき世界に 木の芽吹く
 中野 白堂

【美東俳句会】

訝する 工事の音や 冴返る
 天ぶらの 苦さと香り 露の臺
 重富 八重
 岩佐 晴子

【秋芳野火句会】

はるかなる 御先祖の碑や 寒蕨
 猪鍋で 一時忘れる 余寒かな
 波多野深雪
 長谷 伸由

【ホトトギス秋芳句会】

旅予定 狂はず列島 春の雪
 川普請 終へ小流れの 音美し
 秋枝美代子
 桑原 幸子

【美祿短歌会】

里山に今年も杉の花穂つけ花粉を散らす
 風を待ちをり
 西村 雪江
 晴天に竹ざき騒ぐ風ふくや露天の湯気は
 風の意のまま
 伊藤 和子
 古新聞袋折りつつ拾い読み脳細胞の活性化
 希う
 江国 豊子

【秋芳短歌会】

雪の舞ふ寒中なれど招かれし孫の婚とて
 燃えていでゆく
 長 安喜子
 雪かきで摘みし七草ふつふつと煮えて
 軟らかき粥となりゆく
 前田 時博
 雑草に交じり自生せしマンリョウのここども
 付けひる赤き実が映ゆ
 平田 和男